

カルトロフェン・ベツ®注射液

Cartrophen Vet® Injection

(ポリ硫酸ペントサンナトリウム注射液)

カルトロフェン・ベツ注射液は、ポリ硫酸ペントサンナトリウムを有効成分として10%含有する皮下注射用製剤である。

■組成

カルトロフェン・ベツ注射液は、1mL中ポリ硫酸ペントサンナトリウムを100mg含有する。

■効能・効果

犬：骨関節炎に伴う疼痛および跛行の改善

■用法・用量

犬の体重1kg当たり0.03mL(ポリ硫酸ペントサンナトリウムとして3mg)を7日おきに1回、合計4回皮下注射する。本剤の投与容量が少ない場合は、ツベルクリン用シリンジを使用することが望ましい。

■使用上の注意

【一般的注意】

- (1)本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、定められた用量(3mg/kg)を超える投与により、有効性が低下するおそれがある。5mg/kgの用量では跛行の改善がほとんど認められないという成績がある。
- (3)本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

【使用者に対する注意】

- (1)誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

【犬に対する注意】

1. 制限事項

- (1)本剤は、出血性疾患又はその疑いがある犬には投与しないこと。
- (2)本剤並びにヒアルロン酸、ヘパリン、多硫酸グリコサミノグリカン等本剤に類似の化合物に過敏症を示す犬には投与しないこと。
- (3)肝機能に障害のある犬には慎重に投与すること。
- (4)妊娠中および授乳中の犬に対する安全性は確立されていないため、投与を避けること。
- (5)若齢性関節炎、関節リウマチ、感染性関節炎および神経性の運動障害の犬に本剤を投与した場合の有効性および安全性は確認されていないので、使用を避けること。

2. 副作用

- (1)副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2)本剤投与後、まれに一過性の嘔吐がみられることがある。
- (3)本剤投与後、まれに一過性の元気減退、食欲不振がみられることがある。
- (4)本剤投与後、まれに脱毛等の皮膚の限局的な変化がみられることがある。
- (5)本剤投与後、まれに下痢等の便の性状の変化がみられることがある。

3. 相互作用

- (1)非ステロイド性抗炎症剤、特にアスピリンは血小板凝集を阻害する効果があり、本剤の抗凝固作用を増強するおそれがあるため、本剤との併用を避けること。

4. 適用上の注意

- (1)本剤で治療中の動物に対する外科手術は、本剤の抗凝固活性による出血等の危険性を十分考慮した上で実施することとし、外科手術直後の本剤の投与や本剤投与直後の外科手術は避けること。
- (2)注射器は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。

【取扱い上の注意】

- (1)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (2)開封後は速やかに使用すること。

【保管上の注意】

- (1)小児の手の届かないところに保管すること。
- (2)本剤は、遮光の上、2～8℃で保存すること。

【その他の注意】

- (1)ウサギの器官形成期投与試験で、高用量(7.5mg/kg/日)投与群のみで、母動物への影響によると考えられる平均胎子体重の減少および胎子死亡率の増加が認められている。
- (2)犬における安全性試験において、本剤の薬理作用と関連して、中用量および高用量投与群で血液凝固能に関連する項目(活性化部分トロンボプラスチン時間およびトロンビン時間)の軽度延長が認められている。これらの変動は4～6時間で正常化した。投与部位および全身性の出血は認められなかった。
- (3)成長板が閉鎖していない幼若犬における本剤の有効性は確認されていない。

■使用期限

個装箱およびラベルに表示

■包装

カルトロフェン・ベツ注射液 10mL×1バイアル

製造販売元(輸入発売元)

DSファーマアニマルヘルス株式会社

大阪市中央区本町2-5-7

製造元

バイオフาร์ม オーストラリア プロプライエタリ リミテッド

(2015年6月改訂)

®バイオフาร์ม オーストラリア プロプライエタリ リミテッドの所有登録商標

(2014年7月改訂)